

朝日大学は、国際未来社会を切り開く社会性と創造性、そして、人類普遍の人間的知性に富む人間の育成をめざします。

「会計コース」を充実 スペシャリスト育成をめざす

岐阜県高等学校商業校長会と朝日大学との「商業教育の連携・推進」にかかる協定の締結を受け、経営学部経営学科では、会計のスペシャリスト育成をめざす「会計コース」のカリキュラムが大幅にリニューアルされた。2012年度より高度な会計教育を展開する。



大学での4年間の学びが、
あなたを会計のスペシャリストへ導きます。



HOT TOPICS



岐阜県高等学校商業校長会との連携協定を締結

岐阜県内におけるより高度な商業教育の実施をめざし、岐阜県高等学校商業校長会と朝日大学との間で「商業教育の連携・推進」にかかる協定が本年7月に締結された。

今回の協定は、より高い水準の商業教育の実施と新たな教育手法の開発をめざすとともに、高等学校商業科で学ぶ若者の夢がかなうよう、より高度な会計資格の取得を「大学教育で実現すること」を目的として締結された。

経営学科に「会計コース」を充実

岐阜県高等学校商業校長会との「商業教育の連携・推進」協定締結を受け、経営学部経営学科では会計のスペシャリスト育成をめざす「会計コース」のカリキュラムが大幅にリニューアルされた。



会計スペシャリストを養成

同コースでは、日商簿記検定1級合格や税理士など将来の目標に応じた教育プランを設定し、高度な専門教育と現役税理士・公認会計士によるきめ細かな指導を取り入れることで、会計の領域で幅広く活躍できるスペシャリスト(人材)の育成を行う。

高度な会計教育

これにより商業教育界で全国トップレベルの実績を有する岐阜県高等学校商業校長会と経営学部を有する朝日大学との地域一体となった連携・協力がはかられ、高度な会計教育をはじめとし岐阜県商業教育の発展に寄与していく体制が整ったこととなる。

また、「会計コース」充実に併せて、だれもが同じスタートラインに立てるよう「会計コース特別奨学生制度」が新設されるとともに、4年連続95.0%以上という高い就職内定率に裏付けされた万全な就職支援により、実社会への旅立ちを完全サポートする体制が整えられることとなった。

「会計コース」学びのポイント

- 「楽市楽座」発祥の地、商業の街・岐阜で高度な会計教育を実現
- 現役税理士・公認会計士による「きめ細かな指導体制」を確立
- カリキュラムの中で「資格取得」に向けた授業科目を学ぶ
- 繰り返しによる答練と特別講座で「将来の目標」をめざす

※詳細については、ホームページ、リーフレット、学生募集要項などをご覧ください。

会計コース特別奨学生制度

I 種

奨学金給付額 **95** 万円



出願資格

出願時において、日商簿記検定1級又は全国経理教育協会簿記能力検定上級に合格した者で、かつ岐阜県高等学校商業校長会から推薦された者。

入試方式

AO入試(専願)

入学検定料

3万円

II 種

奨学金給付額 **47** 万円



出願資格

出願時において、日商簿記検定2級に合格した者で、かつ出身高等学校長から推薦された者。

入試方式

AO入試(専願)又は一般推薦入試(併願可)

入学検定料

3万円

※審査基準を満たすことと、奨学金は4年間継続して受給可能です。※上記にはテキスト代等は含まれておりません。※入学手続時には、入学金15万円、諸会費等(4年間)6万6000円が別途かかります。

夏のオープンキャンパス開催

模擬授業・裁判で1日大学生

法学部(法学科)、経営学部(経営学科・経営情報学科・ビジネス企画学科)の志願者を対象とした「2011オープンキャンパス」が6~8月に穂積キャンパスで開催された。

県内外から多くの高校生や保護者らが来学し、映像による大学紹介、模擬授業、入試・奨学金説明会、キャンパス見学、ランチバイキングなどに参加し、大いに「朝日大学」を体感した。



ランチバイキングで学生・教員と交流



模擬法廷で裁判を実体験

模擬授業では、高校生にも関心のあるテーマの「スマートフォンが変える新しいゲームの世界」、「これからの大好評の「憲法」の話をしよう」など身近なテーマを取り上げられ、参加者はその内容に目を輝かせていた。また、

地元テレビでも紹介された大好評のランチバイキングでは、学生スタッフや教員との会話もはずみ、「大学生活をエンジョイする方法」などの話題に花が咲いていた。

さらに、裁判員裁判の導入を受け改修された模擬法廷では実際に裁判員席に着席し模擬裁判で評決を下したり、イングリッシュランゲージサ

ロン(ELS)では外国人教員との英会話を楽しむなど、朝日大学の特色や魅力をより理解・体感できる「オープンキャンパス」となった。



未来の歯科医師を目指す

ELSで英会話を体験

歯学部志望者を対象とした「オープンキャンパス」では、全国各地から歯学部への入学をめざす高校生、保護者・家族らが集い、建学の精神や教育方針、歯科医師国家試験への取り組み、新しい学費の体系、そして、歯科医師の魅力などの説明に熱心に耳を傾けた。

参加した高校生たちは、最新鋭の機器を備えた臨床系実習室、「インプラント」治療を模擬体験



附属病院、図書館などを見学。模擬実習が行われたシミュレーション実習室では、参加者が患者型マネキンで実際に虫歯に見立てた模型の歯を削り「歯科医療」の現場を「ワクワク、ドキドキ」しながら実験した。



未来の歯科医師たちは、朝日大学の歯学教育を体験し、歯科医師をめざす気持ちがより強くなったようであった。

「患者型マネキン」ではじめての歯科治療

歯学部海外研修を実施

歯学部では、国際的な視野を持ち幅広く活躍できる歯科医師を育成するために、毎年夏季休業期間等を利用した学生の「短期海外研修」を実施している。5年生を対象とした海外研修の費用は全額大学で負担しており、学生にとって、国際交流を深め海外の医療現場を知る絶好の機会といえる。

学生派遣にあたり壮行会が穂積キャンパス内ホールで行われ、大友克之学長、田村康夫歯学部長、藤原周歯学部国際交流委員長ほか、引率教員ら関係者が出席した。

今回海外研修に参加する学生たちは、研修先での各種研修プログラムに思いを馳せ、期待に胸を膨らませると共に、それぞれの意気込みを英語、スペイン語、中国語などの研修先の言語で堂々と発表していた。

海外4カ国7大学へ派遣

2011年度夏の歯学部短期海外研修	フィンランド	トゥルク大学	2名
は4カ国7大学でそれぞれ行われ、8月末までに全て終了、将来の歯科医師たちにとって実り多い研修となったようである。	中 国	北京大学口腔医学院	5名
		第四軍医大学	5名
	アメリカ	カリフォルニア大学ロサンゼルス校	5名
		テキサス大学サンアントニオ校	5名
		アラバマ大学バーミングハム校	5名
	メキシコ	メキシコ州立自治大学	5名

「語彙・読解力検定」に挑戦!

「第1回語彙・読解力検定」が穂積キャンパス6号館で実施され、法学部の学生がチャレンジした。

「語彙・読解力検定」は、朝日新聞とベネッセコーポレーションが共同開発した能力検定試験で、「辞書語彙」「新聞語彙」「読解」の三つが出題領域とされる。近年、教育現場で読解力や表現力の低下が危惧されている中、社会生活を送るうえで必要となる基本的な知識とその運用能力を測定することができることで、新しい検定試験として注目されている。

すべての学びは「語彙・読解力」から

今後、学生たちが「語彙・読解力検定」に積極的にチャレンジすることで、自身の「ことば力」のレベルを認識し、大学での学びや就職活動に活かしつつ、実社会で必要とされる思考力、表現力や判断力のさらなる向上をめざしていくことを期待する。



「語彙・読解力検定」に挑戦

TOPICS

教員免許状更新講習

穂積キャンパス6号館で「教員免許状更新講習」が実施された。

「教員免許更新講習」とは、教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技術を身につけることで、教員が自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊敬と信頼を得ることを目的に実施される講習である。

教育現場で研修成果を生かす

8月に実施された講習(下表のとおり)には、県内外19の高等学校から延べ35名の教員が参加し、本学教員の講義を教育現場に生かそうと熱心に聴講、新たな知識などを身につけていた。

● 法律から社会をみる

法教育の実践を通じて教育現場を考える

杉島正秋(法学部長・同学部教授)、齋藤康輝(同学部教授)、大野正博(同学部教授)

● 起業成功のための条件

ビジネスアイデアを現場に活かすための理論と実践事例を学ぶ

岩崎大介(ビジネス企画学科長・同学科教授)、

田ノ上純一(同学科教授)、中畠千弘(同学科教授)

● 情報化社会を生きぬくために

情報機器の活用、情報社会における生徒の行動分析

森下伊三男(副学長・情報管理学科教授)、畦地真太郎(経営学科教授)

● 企業の組織と会計

経営主体としての組織とは、国際的会計基準・キャッシュフロー分析とは何か

荒深友良(経営学科教授)、小畠信史(同学科教授)、後藤宏行(同学科准教授)

人命救助に貢献

経営学部は、人命救助に貢献した経営学科2年の河島伸哉さんに対し「経営学部長表彰」を行った。

河島さんは、今春に友人と琵琶湖(滋賀県)にドライブに出かけたところ、彦根港の岸から湖へと転落する乗用車と遭遇。とっさに着衣を脱ぎ捨て湖に飛び込むものの高波で水温も低く転落現場との距離もあったことから、いったん岸に上がり警察へ通報すると共に周囲の人たちへ声掛けを行い、連携し救出活動にあたった。



「経営学部長表彰」を受けた

河島伸哉さん

勇気ある行動が讃えられる

湖に転落し救助された人は「河島さんが湖に飛び込む姿が見えたので、窓を開けて逃げ出すことができた。この人がいなかつたら助からなかつ」と涙を流しながら感謝の言葉を述べていたとのこと。

今回の表彰は、河島さんのとっさの判断力と勇気ある行動が本学学生の模範となる行動として認められたことによる。

「企業見学会」を開催

マーケティング研究所では、いちい信用金庫(愛知県一宮市)からの委託を受け、次世代クラブ会員(取引先企業の2代目経営者)を対象とした「企業見学会」を(株)中川製作所(三重県津市)にて開催した。

同社は、経済産業省「元気なモノ作り中小企業300社」に選定されている国内唯一の紡績針・じゅうたん織機メーカーで、三重大学などとの連携で積極的な技術革新にも取り組んでいる。



中川雅弘社長の熱意が伝わる

切り口などについて質疑応答がなされ、実り多き見学会となった。

見学会では同社の中川雅弘社長から、若くして四代目を継いだ際の苦労話や、業務改善によって徹底的にコスト削減に取り組む姿勢などが語られた。その後、社員のモチベーションアップの方策や社員教育の手法、業務改善の

地域社会との連携

同研究所では、これまで「企業見学会」で訪問した企業に学生が就職するなど、企業との継続的な交流をはかっている。また、今年度も鈴木博道教授(同研究所長)、田ノ上純一教授・中畠千弘教授(同研究所員)が講師を務める「次世代クラブ経営分科会」の開催が予定されている。

ジュニア・ロースクール開講

穂積キャンパス6号館模擬法廷で、中学生を対象とした「ジュニア・ロースクール」が8月5日に開講された。

裁判員制度の実施に伴い、国民の司法参加が必須となった今日において、一般市民に対する法教育、さらには、若年層に対する学校における法教育が益々重要性を増している。

今回のジュニア・ロースクールは、岐阜県弁護士会、法学部を有する朝日大学、岐阜県内外に多数の教員を輩出している岐阜大学、そして、県内学校の法教育推進を目的として設立された岐阜法教育研究会が連携し、中学生の夏休み体験学習の一つとして一昨年度から開講しているものである。

模擬法廷で裁判を体験!

模擬法廷に集まった50名を超える中学生たちは、初めて体験する裁判所(模擬法廷)の様子に少し緊張ぎみの様子。しかし、そこは度胸のすわった中学生たち。「裁判とは、いったいなんなの?」、「裁判官・検察官・弁護士は何をしているの?」などの疑問を解決しようと熱心に受講していた。



中学生たちが「模擬法廷」で裁判制度を学ぶ

夏期就職セミナー

岐阜都ホテル(岐阜市)で「朝日大学夏期就職セミナー」が開催された。

このセミナーは、初参加を含め、「朝日大学学生を採用したい」との申込みがあった企業を招いて行う本学独自の就職説明会で、企業様にとっても、学生にとってもマッチングのための最高のチャンスとなっている。



企業ブースで採用担当者と面談

今回全国より50社が参加、夏季休暇中にもかかわらずリクルートスーツ姿の約150名の4年生が来春卒業後の活躍の場を求め企業ブースに足を運び、採用担当者と面談した。

学生たちの就職に対する熱意

学生の中には、セミナー終了後も熱心に企業様との面談を続ける者もあり、就職への意欲を採用担当者は感じていただけたのでは。現4年生を対象とした本学主催の就職セミナーは、今回が第三弾。就職環境の厳しさが増す中、学生たちはそれぞれの夢と希望の実現に近づいている。

「大学職員力」を高める

他大学の取り組みを学ぶ

歯学部では、FD研修会が穂積キャンパス1号館講義室で開催され、約100名の教育職員が参加した。



明海大学中島裕歯学部長による講演

今回の研修会では、昨年度の歯科医師国家試験において好成績を残した愛知学院大学の野口俊英前歯学部長、明海大学の中島裕歯学部長らを外部講師に招き、歯学教育の手法と教育評価・国家試験への取り組みなどについての研修を行った。

研修会場では、他大学の先進的・効果的な事例を学ぼうと質疑応答が活発に行われ、参加者は真剣なまなざしで研修に取り組んでいた。

事務職員の資質向上が不可欠

また、「魅力ある大学、選ばれる大学」をめざし、SD活動の一環として若手職員(係長以下)を対象とした事務職員研修会がじゅうろくプラザ内研修室(岐阜市内)で開催された。

今日の大学(高等教育)では、教育研究をサポートする事務職員の資質向上が不可欠であり、教育職員のFD活動推進と共に、事務職員によるSD活動のさらなる活性化が求められている。

研修では、大学を取り巻く環境の変化を認識すると共に組織の中で求められる責任と役割について理解を深めると共に、業務効率の向上に必要となる実践的な手法や、組織力向上のためのコミュニケーション能力を身につける研修も行われた。

FD [faculty development]

教員の教育能力を高めるための実践的手法

SD [staff development]

職員の意識改革、能力開発の実践的手法



NEWS

高大連携授業が開かれる

岐阜県立岐阜商業高等学校と朝日大学では、文部科学省が推進する「学力向上実践研究推進事業」に基づく「高大連携授業」が展開され、3年生の履修科目「課題研究」の授業が同校教諭と本学教員とで行われている。

「知の拠点」として

朝日大学のスクールバスで到着した流通ビジネス科の生徒たちは、穂積キャンパス6号館講義室に入室し、中畑千弘教授と田村明教授(共にビジネス企画学科)による「オープンスクール形式」の授業を緊張した様子で受講。



緊張した様子で大学の講義を受講

授業では、実際の店舗内レイアウトや商品開発を事例に挙げ、成功の裏側にある工夫や仕組みなどマーケティングについてわかりやすく両教員から解説された。高校生たちはその後、映像で学生生活の様子を視聴したり、大学施設を見学したりと「一日大学生」を体験した。

朝日大学では、今後も広く「知の拠点」として、高大連携をはじめと地域社会に開かれた大学をめざしていく。

「ドナルドの防犯教室」をサポート



ドナルドと防犯教室を開催

法学部防犯ボランティア団体「めぐる」のメンバーは、岐阜県警察本部と連携し瑞穂市内の穂積小学校で「ドナルドの防犯教室」を開催した。

防犯教室では、「事件に遭わないようにするためにには、事件に遭ったときにはどうすればよいのか」をテーマに、「めぐる」のメンバーたちがドナルドと協力しクイズ形式で対処方法をわかりやすく解説した。

みんなで大声を出し助けを

参加した学生たちは小学生と共に、不審者に遭遇した時の防犯笛の鳴らし方や、笛を忘れたときの大声の出し方を練習。「めぐる」は、地域社会の防犯意識向上に努める活動を行った。

SPORTS**自転車競技****西日本インカレ「6連覇」達成**

チームパーシュートのレース

岸和田競輪場(大阪府)で行われた「第47回西日本大学対抗選手権大会」において、体育会自転車競技部は、1kmTT、ケイリン、3kmIP、4kmIP、スprint、スクラッチ、チーム

パーシュートの7種目で優勝を收め圧倒的な強さを發揮。西日本インカレの「総合優勝」を果たすと共に、この大会6連覇の栄冠に輝いた。

国際大会で堂々の活躍

また、中国(深圳)で開催された学生スポーツの祭典「ユニバーシアード国際大会」に出席した明珍裕子選手(ビジネス企画4年:福島)は、ロードレース(個人)で13位、チームロードでは5位入賞をはたすなど、日本チームの活躍に大いに貢献し、国際大会でも競技力の高さを見せた。

ボウリング**「オールレディース」初優勝!**

体育会ボウリングチーム(Blue Flash)の濱元美貴恵選手(ビジネス企画1年:沖縄)は、津グランドボウル(三重県)で開催された「第24回オールジャパンレディースボウリングトーナメント」において、全国トップクラスの女性ボウラーたちに投げ勝ち、みごと初優勝の栄冠に輝いた。

ルーキーの無欲の勝利

同大会は、全国の女性ボウラーの頂点を決める大会で、各県の予選を勝ち抜いた選手がそれぞれヤング、ミドル、シニアの部門別優勝を争うもの。ヤング部門を予選5位で通過した濱元選手は、準決勝で総合2位のスコアをマーク、順位決定戦では総合1位と3位の強豪選手にみごと勝利し初優勝の栄冠を手中に収めた。

本年4月入学のルーキーの「無欲の勝利」を讃えるとともに、濱元選手の今後のさらなる活躍が期待される。

卓球 全日本インカレ準優勝

大学ナンバーワンを決める「第81回全日本卓球総合選手権(団体)」が東大阪アリーナ(大阪府)で開催され、体育会卓球部(女子)がみごと準優勝をはたした。

鉄壁の布陣で試合に臨む

予選リーグを無敗で勝ち上がった卓球部(女子)は、決勝リーグに鉄壁の布陣で臨み、東洋大学、日本大学、神戸松蔭女子学院大学などに次々と勝利。決勝では大会3連覇を狙う淑徳大学と対戦、大学ナンバーワンをかけ激戦を繰り広げるも、惜しくも準優勝に止まった。

試合後、田ノ上純一部長(経営学部教授)や米塚雅弘監督(職員)らは「気持ちを切り替え、今後の東海リーグ、日本リーグなどでの勝利をめざしていきたい」と抱負を語った。

ホッケー**「大学王座決定戦」準優勝!**

体育会ホッケー部が、天理市親里ホッケー場(奈良県)で開催された「第30回全日本大学ホッケー王座決定戦」において、2年連続準優勝の成績を収めた。

宿敵天理大学との対決

「王座決定戦」は、春季リーグ戦を勝ち抜いた東西の強豪大学が「大学王座」をかけて対戦する大学ホッケー最高峰の大会。昨年同大会において立命館大学と優勝を争うものの惜しくも準優勝となったホッケー部は、「大学王座」をかけ順調にトーナメントを勝ち上がり、準決勝では関東強豪チーム(第1代表)の山梨学院大学にみごと勝利し決勝戦へと駒を進めた。決勝戦は、今春関西リーグ準決勝で敗れた天理大学との対戦、一進一退のゲームが展開され延長戦でも決着がつかず、PS戦の結果4-5のスコアで惜敗、「大学王座」獲得はならなかった。

しかし、着実に実力を付けレベルアップしているホッケー部。めざせ大学ナンバーワン。

ラグビー**東海リーグ連覇に向けて好発進**

本学体育会ラグビー部は、穂積キャンパスラグビー場で開催された「第16回ギフセブンズ大会」に出場し、みごと優勝に輝いた。

熱戦が繰り広げられる

「ギフセブンズ」は7人制のラグビー大会で、今大会には8チームが出場し予選リーグ戦と決勝トーナメント戦で覇を競った。本学ラグビー部は予選リーグで岐阜県警チームなどと対戦、圧倒的な攻撃力で勝利。決勝戦は「ぎふ清流国体」に向かってチーム結成された清流ラガーズとの対戦となった。熱戦が繰り広げられた決勝戦は、ラグビー部が31対14のスコアで勝利し、優勝をはたした。

昨シーズン悲願の東海リーグ制覇を成し遂げたラグビー部、リーグ連覇に向けて好発進となった「ギフセブンズ大会」であった。

スポーツフェスティバル

体育会が、穂積キャンパス総合グランドなどで「スポーツフェスティバル2011」を開催。地元の小学生から高校生や保護者ら約120名が参加し大学生らとのスポーツを楽しんだ。

昨年に引き続き2回目の開催となった同フェスティバルは、全学をあげスポーツ活動を支援している朝日大学が、地域貢献活動として2012年の「ぎふ清流国体」に向け機運を盛り上げようと開いたスポーツイベント。

ミナモも参加し子供たちとスポーツ



レクリエーションを楽しむ子供たち

体育会所属のラグビー、相撲、フェンシング、卓球、硬式テニス、ハンドボールの部員や「ぎふ清流国体」マスコットキャラクターのミナモらが指導者となり、遊びの要素を取り入れたラグビーやハンドボールなどの競技体験コーナーを運営。午後には部員たちによるフェンシング、相撲、卓球や硬式テニスのミニ試合が行われ迫力あるプレーやユニフォーム姿に子供たちは歓声を上げ目を輝かせていた。

ラフティングを体験

経営学部ビジネス企画学科では、学外研修の一環として鵜飼で有名な長良川上流で「ラフティング」を実施した。

「ラフティング」とは、チームでボートに乗り急流など変化に富んだ河川を下るスポーツで、まさに「チームワーク」が不可欠な競技である。

チームワークの大切さ学ぶ

今回の研修は、ラフティングを通じてチームワークの重要性を体感。組織による共同作業を疑似体験することにより、学生間のコミュニケーション

ボーイスカウトの魅力を語る

ボーイスカウト岐阜県連盟が主催する「2011年度スカウト活動セミナー」がホテルグランヴェール岐山(岐阜市内)で開催され、大友克之学長が「青少年期における体験活動のすすめ」と題した講演を行った。

同セミナーは、ボーイスカウト活動について多くの人に理解してもらおうと開催された催事で、一般市民や加盟員ら約150名が参加した。

21世紀を走り抜くには

ボーイスカウト教育課程の最高の進級章「富士章」を取得している大友学長は、自身のボーイスカウト時代の様々な体験を語ると共に、超少子高齢化を迎えたわが国に



大友学長がボーイスカウト活動セミナーで講演において、21世紀を走り抜くには、環境の変化に即応し「変わること、それを恐れないことが大切」であること、また、日本人として「変わることのない大切なもの」があることについて語りかけ、会場の聴衆を魅了した。

穂積キャンパスに多目的コートが完成

スリー・オン・スリーなどでリフレッシュする学生たち



能力の向上に役立てようと企画された。

ライフジャケットを装着した学生たちは、激流をチームワークで無事乗り越え、緩流では全員でオールを一心に漕いだりし、ラフティング体験を通じてこれまで以上に連帯感を深めたようであった。



スリル満点のラフティングを体験

朝日祭告知!!

盛りだくさんのイベントを予定

「第41回朝日祭」が盛大に開催されます。

皆様お誘い合わせのうえ、ご来場ください。

期 日 2011年 10/21(金)・22(土)・23(日)

テーマ 「つながろう」 東日本大震災をうけ

**催 し
(予定)** ライブコンサート、模擬店、bingo大会、エコキャンペーン、「ぎふ清流国体」PRなど



「ぎふ清流国体」マスコットのミナモも訪れた昨年の朝日祭の様子

STUDY



渡邊喜一郎 理事 逝去



(学)朝日大学理事・評議員の渡邊喜一郎先生が7月9日(土)、東京都内の自宅で90歳の生涯を閉じられた。

先生は、1943年中央大学を卒業後、日本貯蓄銀行(現りそな銀行)、間組を経て1987年理事に就任。長年にわたり財務担当の常務理事として本法人の財務運営に尽力された。

先生の多大なる功績を偲びつつ、衷心より哀悼の意を表します。

覚えよう心肺蘇生法

「救命救急法講習会」が学生部主催の行事として穂積キャンパス体育館で行われ、各クラブの学生や教職員ら約50名が参加した。

本講習会は、この時期「熱中症」による事故が多数報告されていることから、運動中、課外活動中の「熱中症の危険性」、いざというときの「心肺蘇生法」について、学生や教職員が十分認識を高めることを目的に開催された。

「熱中症」の講演会では、大塚製薬(株)の講師から、「熱中症」の発生要因とその対処法について分かりやすく講演がなされると共に、実際のスポーツドリンクを利用した補給法が示された。参加した学生・教職員は、「熱中症」を身近な問題として捉え、メモをとりながら受講していた。



人工呼吸法や心臓マッサージを体験

その後、いつどこで発生するか予測できない災害に備え、学生生活における事故防止の知識と、救急法(応急手当)の基本的な技術を習得するための「救命救急法講習会」が行われた。

講習会では、瑞穂市消防署の署員を講師に招き、救命救急に関する講演や、実際にダミー人形を用いた「人工呼吸法」や「心臓マッサージ」の説明・実演が行われた。参加者たちは実際に「心臓マッサージ」や「AED(自動体外式除細動器)」の操作体験を行い、いざというときの「心肺蘇生法」を学んだ。

学生補導講演会を開催

学生部では、岐阜県警北方警察署生活安全課の協力を得て「犯罪に巻き込まれないように-薬物犯罪に手を染めないように自己防衛を-」と題し、穂積キャンパス6号館大講義室において「学生補導講演会」を開催した。

北方署生活安全課長の講話

講演会では、山本英弘学生部長の挨拶の後、講師から昨今多発している薬物、ストーカー、悪徳商法等の各種犯罪に本学学生が巻き込まれないように「各自の自己防衛のための意識高揚」につながる講話やビデオ上映が行われた。学生、教職員約400名の受講者たちは熱心に講師の話に耳を傾けていた。



北方署生活安全課長による講話

岐阜県英語教育研究セミナー

朝日大学では、建学の精神に謳う「国際未来社会を切り開く社会性と創造性、そして人類普遍的人間的知性に富む人間の育成」の理念のもと、岐阜県下の高等学校との高大連携をはかり英語教育技術の向上及び英語教育の継続性を保持するため、「第3回岐阜県英語教育研究セミナー」を「第27回高等学校英語弁論大会」と共に開催する。

日 時／2011年11月6日(日) 10:00～11:30

会 場／朝日大学(穂積キャンパス内)

講 師／寺本 政司 氏(中日新聞社 社会部部次長)

演 題／「アメリカ民主主義の底流」

第27回高等学校英語弁論大会

主 催 朝日大学

後 援 岐阜県教育委員会、瑞穂市、岐阜市、中日新聞社、NHK岐阜放送局

日 時 2011年11月6日(日) 13:00開会

会 場 朝日大学(穂積キャンパス内)

応募資格 日本国内の高等学校に在学している生徒(ただし、英語を第一言語としない者)

論 題 自由(発表時間5分以内厳守)
個性的・独自性のある内容や表現を求む

締 切 2011年9月30日(金)必着

〒501-0296 岐阜県瑞穂市穂積1851

提出及び 朝日大学 学生課内 英語弁論大会実行委員会

問い合わせ先 TEL 058-329-1082・1083 FAX 058-329-1084

E-mail:gakusei@alice.asahi-u.ac.jp

表 彰 等 最優秀賞、優秀賞、奨励賞、中日賞、岐阜県教育委員会賞、瑞穂市長賞、岐阜市長賞、参加賞、応募記念

入試情報 応募者は2012年度AO入試(社会・文化活動)の出願条件に該当する者として認定します

詳しくは朝日大学入試広報室まで

TEL 0120-058-327 FAX 058-329-1089